

## 平成30年度ごみ・資源組成調査結果について

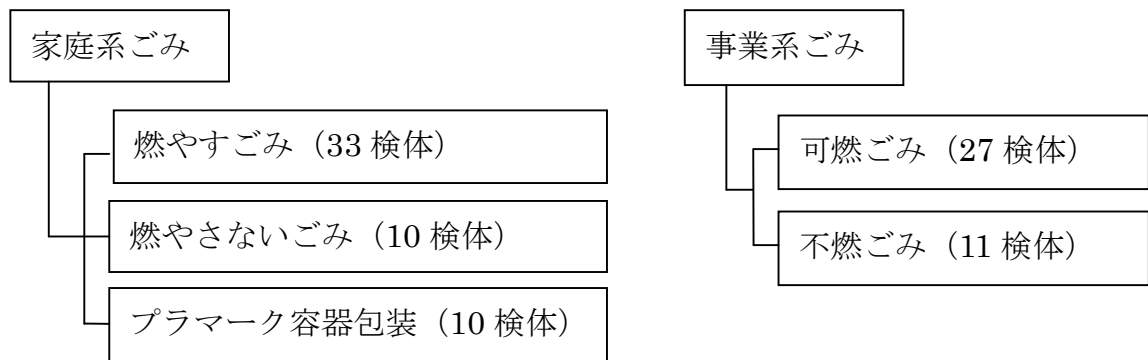
ごみの排出状況を継続的に把握するため、家庭、事業所から排出されるごみ・資源の組成調査を実施しました。この度、平成30年度調査結果が確定しましたので公表します。

### 1. 調査概要

(1) 期 間 平成30年6月～7月

(2) 対 象 91検体

調査の対象として、調査項目ごとに、収集車1台から定量を抜き取ったものを1検体としています。



収集地区別検体数一覧

区分		新 潟	新 津	白 根	豊 栄	横越 亀田	巻	西 川	潟 東	岩 室	計
家庭系 ごみ	燃やすごみ	10	4	4	4	3	2	2	2	2	33
	燃やさないごみ	2	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	プラマーク 容器包装	2	1	1	1	1	1	1	1	1	10
事業系 ごみ	可燃ごみ	8	4	4	4	3	1	1	1	1	27
	不燃ごみ	4	1	1	1	0	1	1	1	1	11

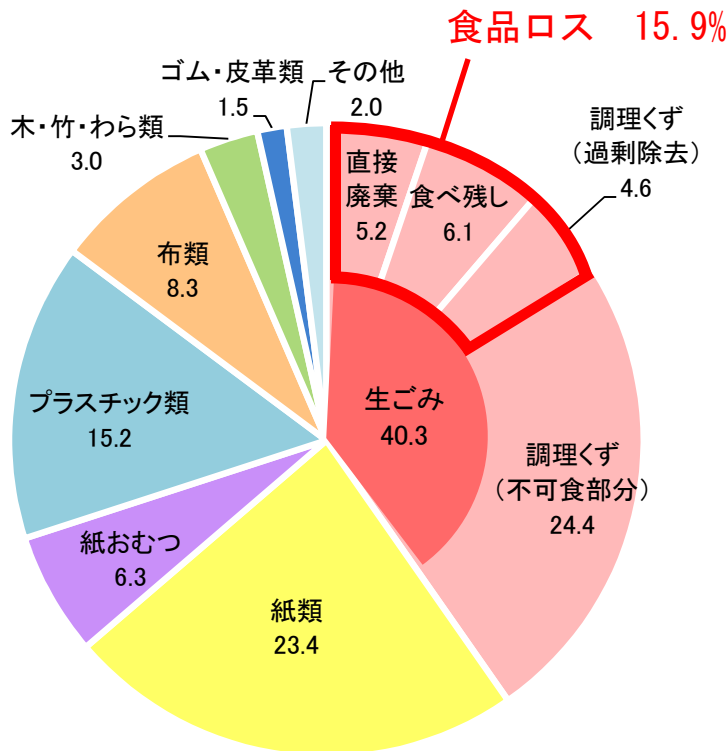
### (3) 調査方法

集積場から収集された家庭系ごみ・資源及び事業所から排出された事業系ごみを収集車から定量サンプリングし、種類ごとに分け、それぞれの重量を測定しました。

## 2. 調査結果

### (1) 家庭系ごみ

#### ア 燃やすごみ



燃やすごみ内訳 (%)	H27	H30
生ごみ	39.6	40.3
紙類	23.7	23.4
紙おむつ	6.9	6.3
プラスチック類	14.4	15.2
布類	8.5	8.3
木・竹・わら類	2.5	3.0
ゴム・皮革類	1.9	1.5
その他	2.5	2.0
計	100.0	100.0

図1：燃やすごみの組成割合 (全市加重平均<sup>注1</sup>)

注1：地区ごとの調査結果に当該地区における年間排出量を乗じて足しあげ、全市年間排出量で割った数値。

表1：燃やすごみの組成割合 (H27-H30)

紙類内訳 (%)	H27	H30	
資源物	新聞紙	3.6	3.0
	雑誌・雑がみ	9.0	8.7
	段ボール	0.5	0.7
	紙パック	0.5	0.5
	計	13.6	12.9
その他紙類	10.1	10.5	
計	23.7	23.4	

表2：紙類の内訳 (H27-H30)

プラスチック類内訳 (%)	H27	H30	
資源物	ペットボトル	0.3	0.5
	プラマーク	10.7	6.1
	容器包装		
	計	11.0	6.6
その他プラスチック	3.4	8.6	
計	14.4	15.2	

表3：プラスチック類の内訳 (H27-H30)

- 組成割合は、生ごみが最も高く 40.3%、次いで紙類が 23.4%となっています。
- 前回調査と比較すると、各項目においてほぼ同じ割合になっています。(表 1)
- 今年度から生ごみを細分化して調査しました。生ごみには、食品ロス(直接廃棄、食べ残し、調理くず(過剰除去))が 15.9%含まれています。(図 1)

#### 【食品ロスとは】

食品ロスとは本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品のことです。食品ロスは大きく3つに分類されます。

- ー直接廃棄：賞味期限切れ等により使用・提供されず、手つかずのまま廃棄されたもの
- ー食べ残し：食卓にのぼった食品で、食べ切れずに廃棄されたもの
- ー過剰除去：厚くむき過ぎた野菜の皮など、不可食部分を除去する際に過剰に除去された可食部分

出典：環境省 食品ロスポータルサイト

- 紙類 23.4%の中には、分別収集の対象である新聞紙、雑誌・雑がみ、段ボール、紙パックが 12.9%含まれています。(表 2)
- プラスチック類 15.2%の中には、分別収集の対象であるペットボトル、プラマーク容器包装が 6.6%含まれています。(表 3)

- 手付かずで廃棄される食品や食べ残しを減らすことで、食品ロスを減らすことができます。
- 紙類やプラスチック類にはまだ資源物が含まれています。分別を徹底することにより、さらにごみを減量することができます。

## イ 燃やさないごみ

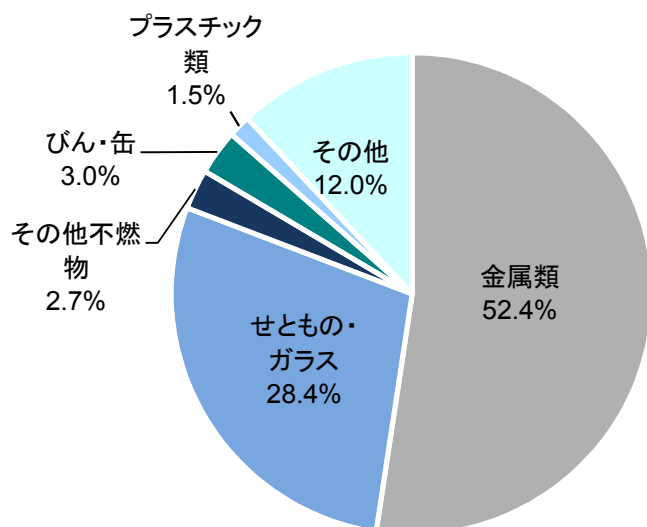


図2：燃やさないごみの組成割合  
(全市加重平均)

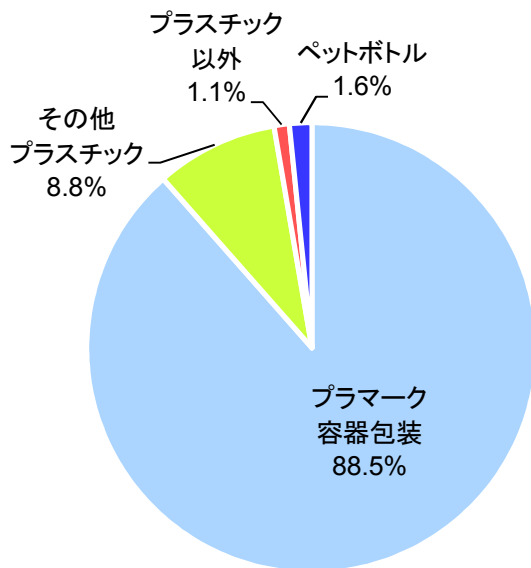
燃やさないごみ内訳 (%)	H27	H30
金属類	52.8	52.4
せともの・ガラス	27.2	28.4
その他不燃物	3.1	2.7
びん・缶	3.3	3.0
プラスチック類	2.0	1.5
その他	11.6	12.0
計	100.0	100.0

表4：燃やさないごみの組成割合 (H27-H30)

- 組成割合は、金属類が52.4%と最も高い割合を占めています。
- 本来「燃やさないごみ」に分類されないびん・缶、プラスチック類などの異物が16.5%含まれています。

● びん・缶は資源物として、プラスチック類は燃やすごみとしてお出しください。

### ウ プラマーク容器包装




プラマーク容器包装内訳 (%)	H27	H30
プラマーク容器包装	90.1	88.5
その他プラスチック	6.0	8.8
プラスチック以外	1.6	1.1
ペットボトル	2.3	1.6
計	100.0	100.0

図3: プラマーク容器包装の組成割合  
(全市加重平均)

表5: プラマーク容器包装の組成割合 (H27-H30)

○ 異物であるその他プラスチック（容器や包装以外のプラスチック）の割合は8.8%で、前回調査より増加しています。

- 目印は、 (プラマーク)です。マークを参考に分別の徹底をお願いします。
- バケツやプランターなど容器包装以外のプラスチック類は燃やすごみです。

(2) 事業系ごみ  
ア 可燃ごみ

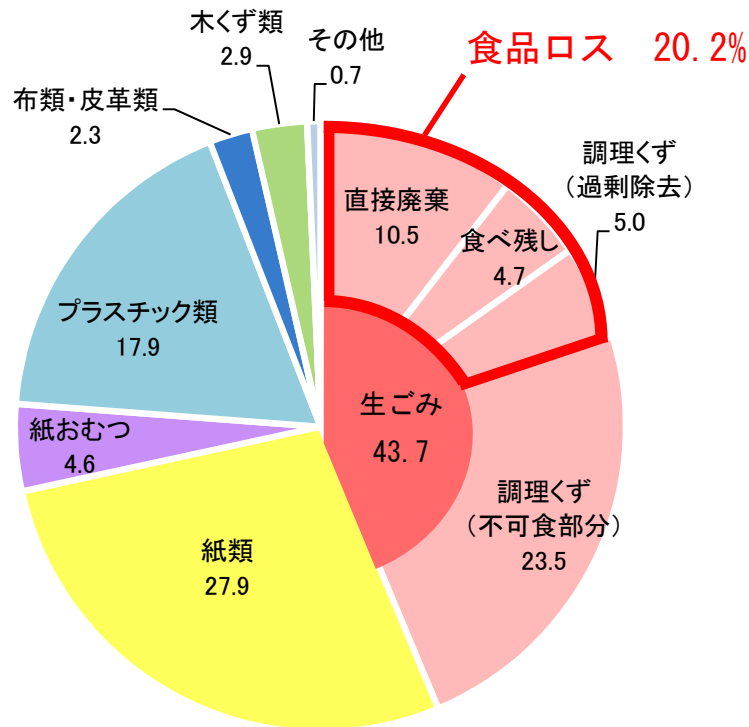


図4：可燃ごみの組成割合（全市加重平均）

可燃ごみ内訳 (%)	H27	H30
生ごみ	30.7	43.7
紙類	34.2	27.9
紙おむつ	18.6	4.6
プラスチック類	2.7	17.9
布類・皮革類	4.3	2.3
木くず類	8.3	2.9
その他	1.2	0.7
計	100.0	100.0

表6：可燃ごみの組成割合（H27-H30）

紙類内訳 (%)		H27	H30
資源物	新聞紙	2.0	2.1
	雑誌・雑がみ	10.8	9.0
	段ボール	0.9	0.8
	OA紙	2.9	2.5
	計	16.6	14.4
その他紙ごみ		17.6	13.5
計		34.2	27.9

表7：紙類の内訳（H27-H30）

- 組成割合は、生ごみが最も多く 43.7%、次いで紙類が 27.9%となっています。
- 生ごみのうち、食品ロスが 20.2%含まれています。特に、直接廃棄が 10.5%となっており、食品ロスの半分を占めています。（図4）
- 紙類のうち、リサイクル可能なもの（新聞紙、雑誌・雑がみ、段ボール、OA紙）の割合は、前回調査と比較して減少しています。（表7）

イ 不燃ごみ

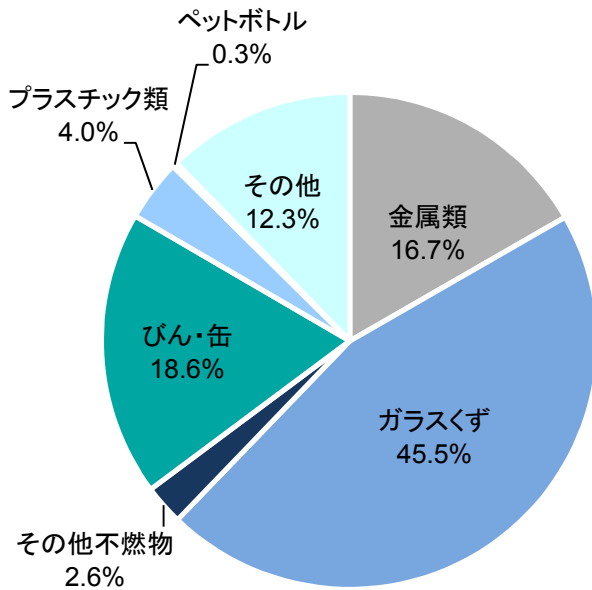


図5：不燃ごみの組成割合（全市加重平均）

不燃ごみ内訳 (%)	H27	H30
金属類	8.5	16.7
ガラスくず	66.8	45.5
その他不燃物	17.8	2.6
びん・缶	2.3	18.6
プラスチック類	1.8	4.0
ペットボトル	0.0	0.3
その他	2.8	12.3
計	100.0	100.0

表8：不燃ごみの組成割合（H27-H30）

- 組成割合は、ガラスくずが最も多く 45.5%となっています。
- 前回調査と比較して、資源化が容易なもの（びん、缶、ペットボトル）の混入が増加しました。

● びん、缶などリサイクルが可能なものは、リサイクル業者に処理を委託してください。